

Voice from 3.11 宣言作成の取り組み



宣言作成の過程

2021年 4月

宣言作成の 企画 多くの「ことば」や集いで語られた「声」を何かしらのカタチにして残したいという思いから、ゼロベースから宣言を作成することを決める (実行委員会8回、事務局会議18回、ワークショップ3回)

5月

ことばを読む

実行委員、事務局員が一人ひとりが寄せられた「274のことば」を全て読み、気づかされたことを考える

6月

気づきの共有

「274のことば」や集いで語られた「声」から気づかされた実行委員、事務局員一人ひとりの気づきをお互い聴き合い、共有する。

10月

気づきを紡ぐ

共有された気づきをもとに「将来残したい気づき」、「これからも考えたい気づき」へと問い直し、実行委員会内でさらに気づきを紡ぎ出す

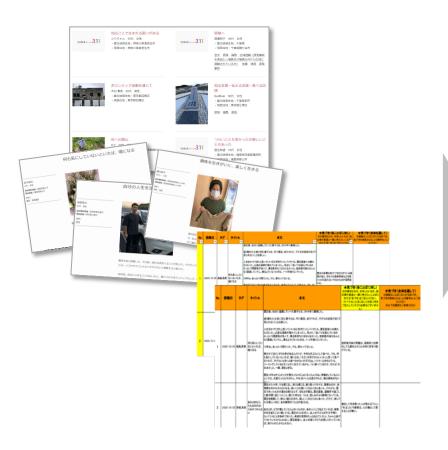
2022年 2月

宣言

紡ぎ出した気づきをもとに、実行委員会・事務局で何度も話し合いながら 宣言を作成「voice from 311「ことば」から紡いだわたしたちの宣言」



「ことば」から「気づき」へ、 「気づき」から「宣言」へ







REMARKABLES IN TRANSCRIPT, RESPONDING PRODUCTS, RESPONDENCE IN COLUMN TO COLUMN THE COLU

Voice from 3.11 ことばから紡いだ わたしたちの宣言



あの目のこと、あの目からの思いを忘れない

のからからようできます。アルスのは、アルスのは、マルスのは、アルスのできます。ではまった。近年のたてこれで、 あたけられている。 あたけられた人、あたはからかは、人、本人でものは、または、かられたいでは、でいる。では、マッケーでも、他によっている。 では、アッケーでは、またはないできます。

声なき声に耳を傾け続ける

White-the things with the specific of the specific specific of the specific of

これまでの、あの時の、新しい「つながり」を大切にしていく

■型で担づかつれた場合をするながら、作れたもちは人とは他、物理と思わりからかで見ませいも、意思では、カラなデリ、新しくできたりながら、使うられた理論からは、フェアはからからまたがし、大きなからできたます。これはなって、からからからないできた。人からは一人がはなく、つながりはよって無くは正えられ、無っちまえたでき、かれたものとからようまだからしたがく。

若者の言葉を受け止め、ともに歩んでいく

サラビルもは大山大田(日本)は日本の大津、 明明を見かられた。それでは、 それかり使えた できだ妻。「妻と、ア、 申しに得ま えた「母は、小母を」、「妻からは妻」。 または、これがいまりましてもにだける。 サイン・選集しない。 (人からを生きていく ままからな、 のかくから、 (さんからなど) かんからない (なんからなど) としている。 (なんからからまたいく

ひとりの気づきをみんなで分かち合う

最近的主義の主義には関するものになったものは、その他では「このちゃくち」の概念。「つかかりの事業を」「ココニュータ ・の大型コニーを設定を基する。このは当ますともデオー・アルちのだけでは、それというか、ただ、たちとだちが続いる の表でフェールの表でも展示し、までものは当ませるか。」としておりませる。

原発事故がもたらした悲しみや苦しみに向きあい続ける 第3条を重要では、対象、実施を担合には、連携を持ち開催した。をよれることは基準を認め継ぎる場合であれての事業に関う的により、連携を対しては最大的には、またしたがは、またできない人という。またしたがはことは実施を受ける。ため、したがはことははあります。

数額を次の質者に必ず近かしていく RESERVED FOR A COTTON OF METAL COLUMNATION, OLICIA CHARLEST AND ACTOR OF A COLUMNATION OF A

THE THE TAX WITH THE PROPERTY OF THE PROPERTY

ことばから得た一人ひとりの気づき

気づきの共有と気づきの紡ぎ直し

宣言へ



宣言を作る上で大切にしたこと

■「ことば」と「声」から宣言を作り出すこと

- 宣言を作成するにあたり、実行委員、事務局員の持論や一般論ではなく、「ことば」や「声」から紡ぎだされたことか?を問いかけながら宣言を作りました。
- また、「ことば」や「声」を寄せてくれた方々へに向けた宣言になっているか? を問いかけながら宣言を作りました。

■(宣言文の)一つ一つの言葉にこだわること

- 抽象的な言葉でまとめず、宣言の背景となる「ことば」や「声」が想像できることを心がけながら宣言を作り出しました。
- 一方で、誰かを傷つける内容になっていないか、誰かを取りこぼす内容になっていないかを意識しながら宣言を作りました。

■宣言作成のプロセスを大切にすること

• 実行委員、事務局員みんなが納得のいく宣言にするため、妥協することなく、時間をかけて、丁寧に何度も話し合いを重ねました。